

大学生の不適応および精神健康上の危機に対する アセスメント手法の検討

大学時代は長い学生期を終えて社会人への成長を期待される重要な時期である。一方で、大学進学率の上昇に伴い、学生の抱える問題の多様化・深刻化が近年の課題となっている。臨床的な視点だけでなく、学生生活への適応の観点から、学生の抱える問題を多面的に見立て、1) 学生の精神健康上の危機を早急に緩和する、2) 今後同様の危機に学生が陥った時の対処法を身につけてもらう、以上のような支援を決定するために、他の臨床領域とは異なる、学生相談領域に特化したアセスメント手法が必要となる。

本研究では、学生集団のデータから1) 近年の学生が抱える問題の傾向、2) 大学生の精神健康に関わる要因および危険因子、以上の検討により、学生が抱える特有の問題の傾向を把握する。その結果をもとに、学生相談臨床のインターク面接において、適切な連携業務および心理的介入を行うためのアセスメントツールの開発を目的としている。さらに、学生相談臨床に携わる臨床心理士、および、学生支援に携わる教職員を対象とした調査により、学生支援の現場のニーズに適したアセスメント手法を検討している。

学生時代に悩みを抱えることは決して悪い事態ではなく、自身の精神健康上の問題を把握し、ストレス耐性を高めるためのチャンスでもあります。適応した社会人になるべく、学生たちの心理的成長を促進する支援を目指しています。



山上 史野 講師

学部：基礎教育部 学科：修学基礎教育課程
所属研究所：心理科学研究所
臨床心理士。金沢看護専門学校等を経て、平成15年
本学講師就任。

Keyword

臨床心理学 / 教育心理学 / 社会心理学